



りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日の相場動向◆

中東情勢への警戒後退で日本株上昇、米金利低下

	7/27	前日比		7/27	前日比		7/27	前日比
日本国債(10年)	2.770%	-0.044%	日経平均(円)	64,931.19	320.04	ドル円	163.75	-0.08
独国債(10年)	3.133%	-0.039%	独DAX(pt)	25,361.03	262.03	NY原油	82.61	-6.70
米国債(10年)	4.649%	-0.028%	NYダウ(ドル)	52,210.08	262.83	NY金	4,077.00	6.20

【ポイント】

- **日本株は上昇**: 米国とイランの外交協議進展への期待から中東情勢を巡る警戒感が和らぎ、幅広い銘柄に買いが入った。一方、AI投資への懸念を背景にAI・半導体関連株は売られ、上値を抑えた。
- **米国株はまちまち**: 米国とイランの外交協議進展への期待や原油価格の下落が株価を下支えた一方、AI投資への懸念から半導体株は売られ、相場の重荷となった。NYダウは上昇、S&P500は横ばい圏、ナスダックは小幅下落となった。
- **米金利は低下**: 原油価格が下落したことでインフレ懸念が後退した。加えて、2年債入札が堅調な結果と受け止められたことも債券買いを支えた。
- **ドル円は横ばい**: 中東情勢への警戒後退や原油価格の下落を受け、有事のドル買いの持ち高を解消する動きがみられた。一方、FRBの利上げ観測も根強く、ドル円は小幅下落ながら横ばい圏で推移した。

【主な材料】

- トランプ大統領はイランとの外交協議で合意も「十分にあり得る」と述べた
- WTI原油先物は一時1バレル=81ドル台まで下落

◆本日の見通し◆

中東情勢の緊張緩和が支えも、FOMC控えて日本株・米金利・ドル円はもみ合いを予想

予想レンジ

日本株 → 64,500-65,500

米金利 → 4.60-4.68

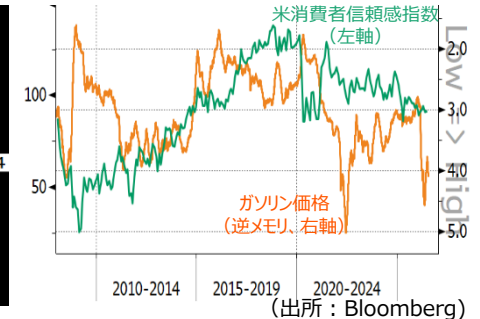
ドル円 → 163.40-164.00

- **日本株**は横ばいを予想。原油安や中東情勢への警戒後退が支えとなる一方、AI投資への懸念は続き、上値の重い展開となろう。
- **米金利**は横ばいを予想。原油安が金利低下要因となる一方、FOMCを控えた様子見姿勢が強まり、方向感に乏しい展開となろう。
- **ドル円**は横ばいを予想。米利上げ観測を背景に円安圧力が続く一方、中東情勢の緊張緩和や原油安がドル円の上昇を抑えよう。

◆本日の注目ポイント◆

トランプ発言で原油安 消費者心理を左右するガソリン高

- 昨日は、米国が迎撃ミサイル在庫不足を懸念しイラン攻撃を見送ったとの報道と、トランプ大統領の「中東紛争終結に向けた協議が進んでいる」発言を受け、地政学リスクを映す原油価格が下落した。NY原油はイラン攻撃直前安値と攻撃後高値の半値水準を一時上抜けたが定着せず、戻り売り優勢の展開が続いている。トランプ氏は強硬姿勢を示しつつ最終的に交渉へ軸足を移す従来パターンを踏襲し、市場もこれを織り込む動きが継続している。
- 本日は消費者信頼感指数が公表される。雇用や株価は堅調な一方で同指数は低迷が続く。2020年以降のガソリン価格高騰が家計心理の重石となっている可能性がある。特に7月以降は中東情勢が悪化し、原油高と共にガソリン価格の上昇が目立つ。7月の消費者心理の圧迫材料になっている可能性がある。



(出所: Bloomberg)

◆当面の注目イベント◆

	イベント	注目点
7/29	FOMC	6月CPIを受けて利上げ期待は後退したが、インフレ警戒はくすぶり、次回9月利上げ観測は残る。ウォーシュ議長は特段先行きの示唆を与えないと見られるが、タスクフォースの進捗は注目される。
8/7	米雇用統計	7月も雇用者数の伸びが鈍化するか、失業率や賃金動向と併せて注目される。労働市場の減速が確認できれば米利上げ観測の後退につながるため、9月のFOMCの政策判断を見通すうえでも重要となる。



りそなグループ

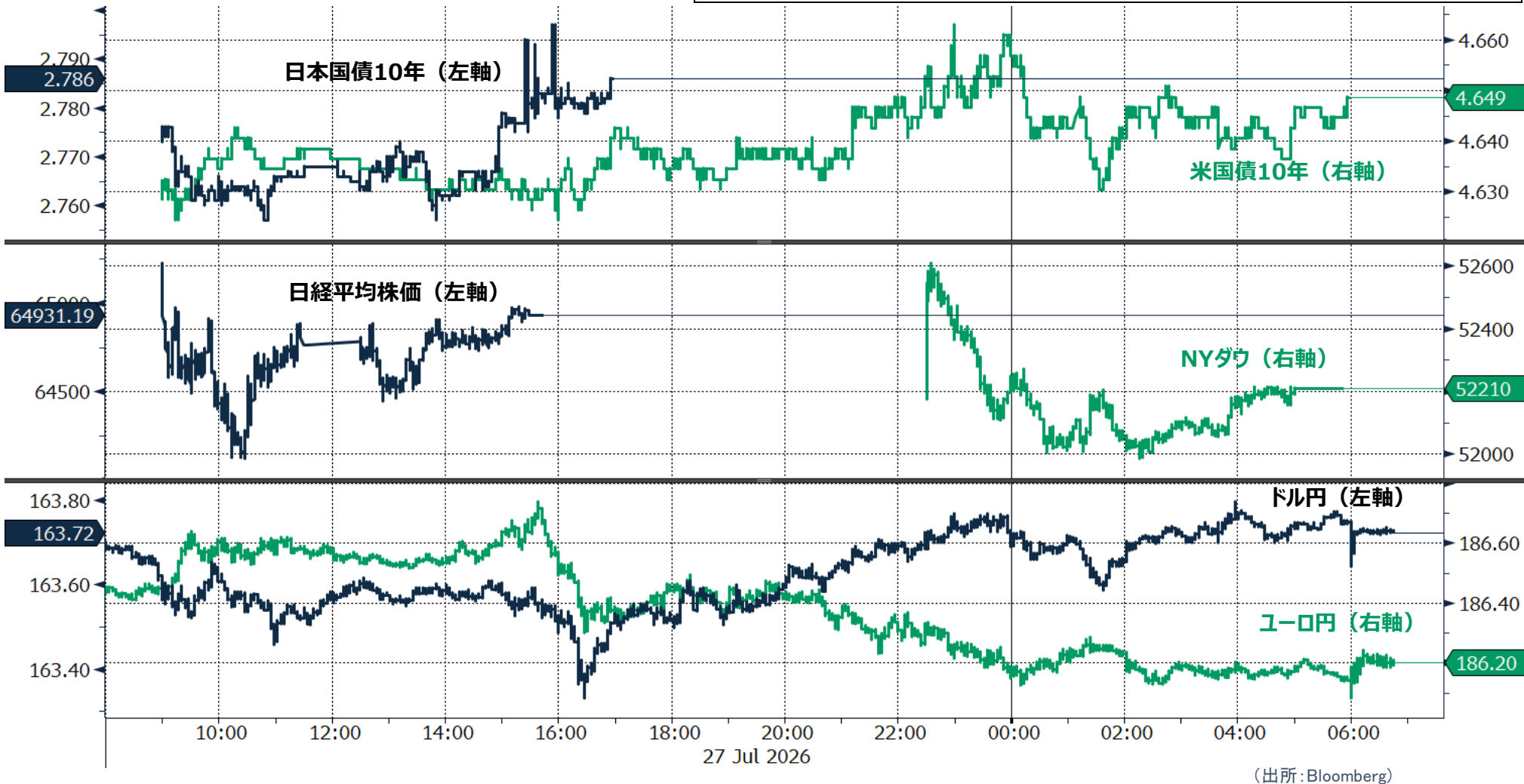
りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日のマーケット動向◆

○TOPIX33業種中 29業種が上昇（値上がり率上位）空運業＞その他製品＞ゴム製品

○S&P11業種中 7業種が上昇（値上がり率上位）生活必需品＞コミュニケーション・サービス＞金融

○主要通貨強い順 AUD＞JPY＞USD＞EUR＞CHF＞CAD＞GBP



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。



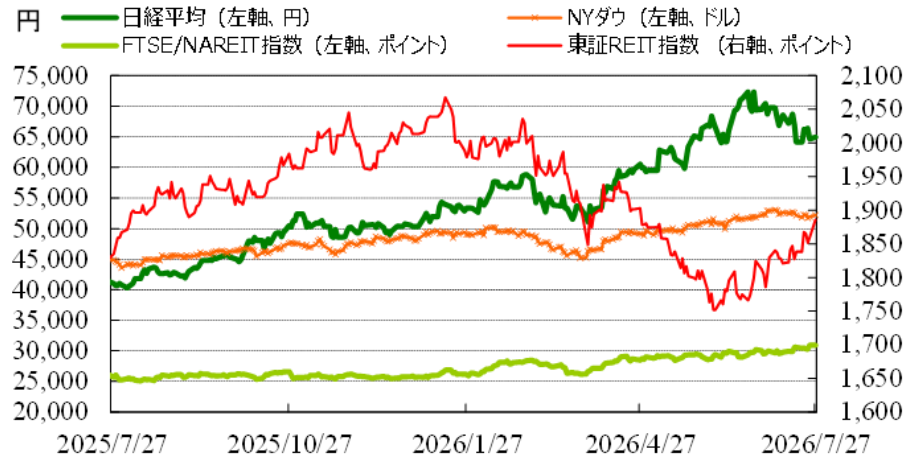
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

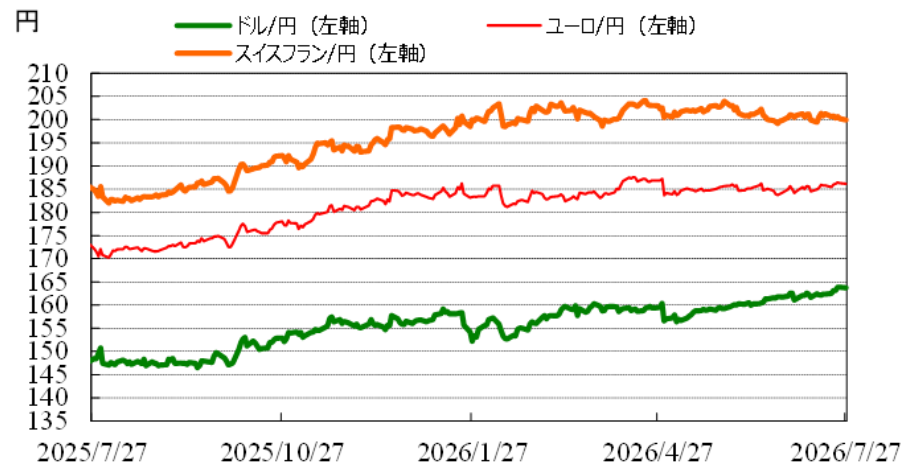
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



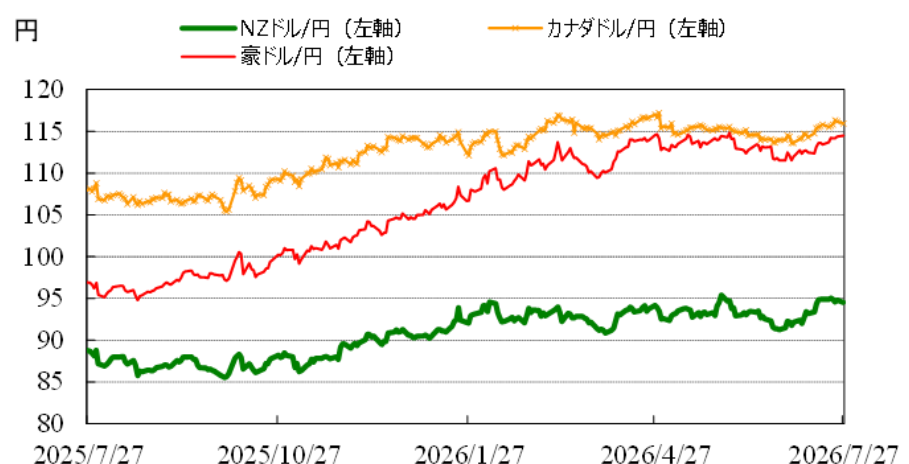
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。



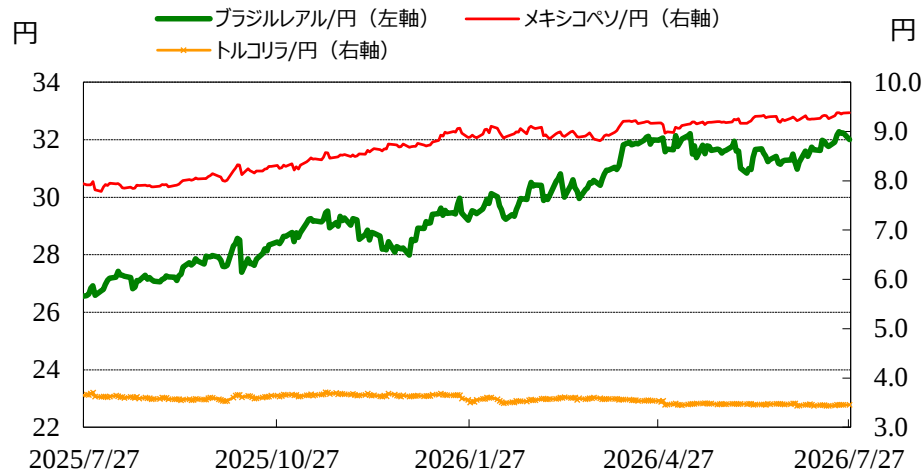
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

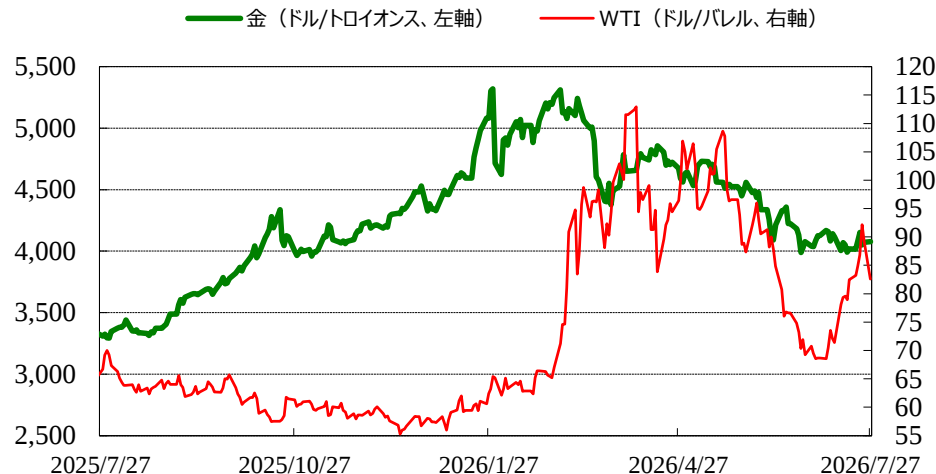
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



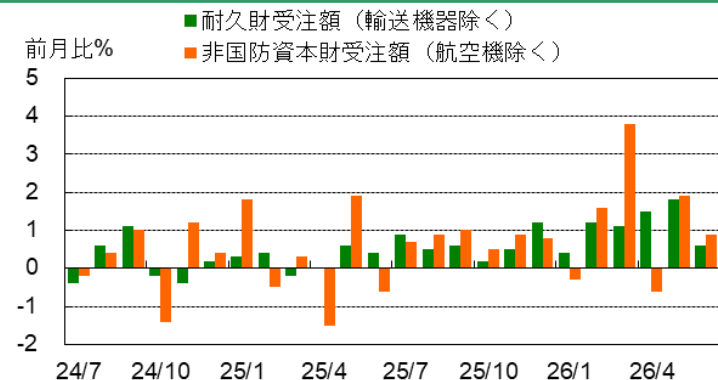
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：米耐久財受注



出所: Bloomberg

耐久財受注額(輸送機除く): 6月前月比+0.6% (予想+0.8%、5月+1.8%)

非国防資本財受注額: 6月前月比+0.9%(予想+0.7%、5月+1.9%)

(出所：Bloomberg 朝8時時点で公表済みの数値を更新)

○注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。